

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新役職者のご紹介



ICU 師長
町田 智香
まちだ ちか

9月1日付けで6階病棟からICU・HCUへ異動になりました町田智香です。6階病棟で師長として3年間勤務してきました。その中で管理の楽しさ、難しさ、大変さを経験してきました。管理者として医師や看護師だけではなくコメディカルとのコミュニケーションや連携の重要性を実感しました。ICU・HCUは予期せぬ状況、生命の危機、手術後の管理など知識や技術、スピードが求められる部署です。ICUのスタッフは日々変化する医療の知識や技術を積極的に学習し、患者様、ご家族の方が安心できる看護を提供しています。ICU・HCUは緊張する業務も多い部署です。緊張感を和らげる環境を意識して、患者様の笑顔、家族への笑顔、スタッフへの笑顔を心がける環境をつくっていききたいと思います。よろしくお願いします。

病院の活動状況 <2020年8月度>

- ・外来一日平均患者数：229人（前年同月比 -155人）
- ・入院一日平均患者数：256人（前年同月比 -47人）
- ・組合員利用分量(率)：57.1%（前年同月比 +5.3%）

協同病院を支える組合員の力

沖縄協同病院では、県の感染症協力病院としてコロナ陽性者の受け入れや治療にあたる中で、患者・職員双方からも陽性者が出て、救急受け入れ停止や病棟・外来の一部を縮小せざるを得ない状況が続いてきました。コロナの影響による経営悪化をたどる中で、新聞報道を見て心配する声が医療生協本部にも数多く寄せられました。しかし、一方で「厳しい状況だからこそ病院を支えよう」という声も地域組合員の間から聞かれ、各地からの出資金や支援協力がありました。定期的な増資以外にも普段はない大口増資が相次いだこと。マスクやレインコート、飲料水等の差入れ。自宅玄関に「沖縄協同病院応援増資取組中」の看板を掲げ、一人ひとりに増資を呼びかける班長さんの姿も。自粛要請の中で自らの健康不安もある中、一緒になって病院を支えようという数々の取り組みは「コロナに負けないで」というメッセージとなって現場の職員を励ましています。本当にありがとうございます。



コロナの影響は長期化の様相です。これまで通りの、安心して利用できる医療・介護・福祉の提供を図ります。

10月11月は秋のつながりづくり強化月間でもあります。力を合わせてコロナ禍を乗り越え、沖縄医療生協の安定化と発展につなげるため、さらなる増資運動をすすめてまいりましょう。

まちづくり推進部 部長
香村 英俊

糖尿病と新型コロナウイルス感染症

いざなぎ

①70 糖尿病・内分泌内科より



沖縄県内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて半年以上がたちました。県内では七月下旬に感染者が急増し、八月一日から九月五日まで独自の緊急事態宣言がだされていきました。九月十一日現在、新規感染者数は減少しているものの、市中感染は続いており、今後も再燃を繰り返す可能性があるといわれています。

この新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響で、高齢者や糖尿病などの基礎疾患がある人の健康状態が懸念されています。当院の糖尿病外来でも、自粛による運動不足、間食の増加、食事の片寄り、更には受診控えによる治療中断で、血糖コントロールが悪化する方が少なくありません。

新型コロナウイルス感染症のニュースなどでは、注意しなければならぬ人として糖尿病患者が挙げられることが多く、みなさん、大変心配されていることとされます。

しかし、感染を怖がるあまり、家に閉じこもりすぎること、糖尿病の合併症の進行や、筋肉の減少により体力が落ちてしまう可能性もあります。

新しい感染症であるため、まだ十分なデータは得られていませんが、「重症化を防ぐためには良好な血糖コントロールが重要だ」といわれています。糖尿病治療の基本は①食事、②運動、③薬物です。「三密」を避けたうえで、できる範囲で体を動かしましょう。自宅でできるバランス運動、筋トレ、立つて過ごす時間を増やすだけでもいいかもしれません。また、これまで通りの運動ができない時は食事療法の重要性がさらに高まります。今一度、日常の食事を見直してみてください。当院外来では、看護師による療養指導、栄養士による栄養指導も行っておりますので、自粛生活での悩みがあれば、ぜひ相談ください。

また、定期受診や健診を控えた結果、大きな病気を発症してしまうこともあり得ます。感染症対策で重要とされる、手指衛生、咳エチケット、加えて「三密」の回避を心掛け、必要な通院を続けていただければと思います。

糖尿病・内分泌内科 加藤友美

そろそろ秋



画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

病院前に立っているスタッフ(看護師)さん、土曜日、大変親切にしてくださいました。

ありがとうございました。

ていねいな対応で、感謝致します。

<当日の手順> ▲▲▲▲▲▲▲▲

- ①受付(13時30分～)
- ②胃瘻受付にて、熱、血圧を測定します。
- ③放射線室で胃瘻交換(受付順番で行います)
- ④レントゲン撮影にて、胃瘻チューブの確認。
- ⑤次回交換日の説明—会計→終了。

<注意点とお願い> ▲▲▲▲▲▲▲▲

- ★新型コロナウイルスで感染症流行に伴い(当日でも)発熱や具合が悪い場合は日程の調整を行いますので担当者に連絡下さい。
- ★胃瘻チューブでの栄養管理は、カロリー管理が重要です。サイズが合わなくなると、胃瘻周囲の皮膚トラブルを起こしてしまうため注意が必要です。
- ★毎食後、胃瘻の周囲はスキンケア行いましょう。
- ★胃瘻ボタンの方は、1日1回は回転させましょう。
- ★胃瘻交換は胃瘻交換のみで内服や軟膏の処方はできません。
- ※予約の変更やキャンセル、ご不明の点がありましたら月・火・木・金 8時30分～12時30分まで担当者がいますのでお問い合わせ下さい。

1階外来胃瘻グループ
狩俣 弘美

「胃瘻手順」変更のお知らせ ▲▲▲▲▲▲▲▲

2018年10月1日から当院胃瘻管理をしています、狩俣弘美です。

現在当院では、73名の患者様がおり胃瘻交換のスケジュール管理物品の管理をしています。

みなさん胃瘻と言う言葉を聞いたことありますか？

胃瘻とは、口から食事が取れない方や、食べてもむせ込んで繰り返し肺炎を起こしてしまう方に直接胃に穴を開けてチューブを挿入し栄養を取り入れる栄養投与方法です。

胃瘻のチューブは、定期的に交換する必要がある、種類もいくつかあります。現在当院では、3種類の胃瘻タイプがあります。

患者様の状態やご家族、施設の方の希望に沿って対応しています。

以前は胃瘻交換の場所を中央処置室で行っていましたが、患者様の混雑もかさなりスムーズに行えなかったのが現状でした。それを改善するために放射線科に協力依頼し交換場所を放射線室へ変更し、放射線科スタッフと連携をはかりことでこれまで以上に、胃瘻交換が安全にかつスムーズに行えるようになりました。

胃瘻交換の受付から会計までの流れが変更になったのでお知らせします。

ハルサー
だより ㊤

トマト栽培開始

冬野菜の収穫が終わると息つく間もなくトマトの苗が届く。苗は三百坪に千五百株。種苗店でその日に購入できる数ではないので二カ月前に注文したものだ。九十歳の母と前期高齢者の私との老老作業なので植え付けに三日間かかった。トマトは定植後の二週間、いかに根を深く伸ばすが勝負だ。そのために灌水チューブを使わず、毎日ホースで水をかける。順調に行けば十一月の下旬には収穫の喜びを味わえる。

自家用にミニトマトも毎年栽培している。去年はネットで珍しい種を購入して植えたが不評だった。それで今年には甘さが売りの苗を五種類十株購入した。一株四百円という目飛び出るが、裏技を使えばトマトに限っては安くなる。トマトは一株あれば、脇芽からいくらでも増やせるのである。挿し芽なので親と同じものが二週間で植え付けできるまで育つ。種苗業者にとっては営業妨害だが、庶民にとっては家庭菜園やベランダ菜園で美味しいものを安価でいっぱい食べる知恵となる。

さて、九月十六日に菅政権が発足した。政策は前政権の踏襲。肝いりの一ト担当大臣は福島瑞穂議員がネット中継で発言している時に、ネット上に「黙れ、ばあー」と書き込んで匿名なのにバレた過去がある。この一件で人間性と一トの力量もバレてしまった。アナログ人間の私でもコロナ感染者の情報をいまだにファックスでやり取りしているのを聞いた時には呆然としたのでデジタル庁には期待したのだが…。

女性議員割合が百九十六力国中百四十七位のこの国に進化と変化はいつ来るのか。

ハルサー 金城 稲子